



冬期休業日前にスマートフォンやタブレット、SNS等の適正な利用を!!

1人1台端末環境での情報モラル教育

1. 子供たちの身近で、すでに起こりうるトラブルは…？

出典：GIGAワークブックとくしま
https://i-moral.tokushima-ec.ed.jp/page_20240603065417



2. 情報モラル教育の3つのポイント

出典：文部科学省 第4回情報モラル教育指導者セミナー
<https://www.youtube.com/watch?v=XbPfbCTan-w>

① いかに関「我が事」として考えさせるか

危険な事例を示すだけでは、子供は「自分には関係ない」と受け止めがちです。場面を想像させ、「もし自分だったらどうするか」と考えさせることが、自覚につながります。

② 「知識」だけでなく、「判断する力」を育てる

「何が危険か」は知っていても、「どのくらい危険か」の見積もりはズレやすいものです。その場その場で考え、立ち止まって判断する力を育てることが重要です。

③ 情報モラルの時間をどう確保するか

「何を、いつ教えればよいか分からない」という声も聞かれます。情報モラルは、各教科や日常のタブレット使用場面の中で、活用しながら育てていくことができます。



生成AI (Gemini) で作成しました

3. GIGAワークブック とくしま



- ① 「情報活用」と「情報モラル」をセットで学ぶ
- ② 45分でも15分でも実施でき、学級で議論できる
- ③ 小学校下学年版／上学年版／中学校・高校版の3種類

